

美合小エコプロジェクト

9月～12月(15時間)

1 ねらい

- ・自然の環境変化について自分が感じることやニュースや新聞で知ったことなど、情報を多方面から想起し、地球温暖化の問題をつかむ。【みつける・みとおす力】
- ・地球温暖化のメカニズムや二酸化炭素の効果を仲間と協力して調べ、エコプロジェクトについて計画を立てる。【かかわる力】
- ・「未来に生かす自然のエネルギー」のリーフレット作りを行い、自然のエネルギーの大切さを知るとともに、エコ生活の重要性に気づき、エコプロジェクトへの意欲を高める。【しらべ・まとめる力】
- ・環境家計簿をつけたり、節電・節水を呼びかけたり、自ら実行したりする。【つたえ・いかす力】

2 実践の概要

(1)「自然の環境変化を感じよう」

身近な自然の環境変化を小さい頃と今とを比較し、話し合った。「地震が増えた。」とか「小さい頃はたくさんいたザリガニが最近減ったみたいだ。」「カエルは増えた気がする。」「桜の咲く時期が早くなり、4月の初めに散り出すようになった。」などの意見が出た。その原因を考えた結果、「水や空気がきれいになった。」「地球温暖化によって花の時期が変わったのではないか。」という意見が多く出た。(岡崎市環境学習プログラム 6年生を参考)

(2)「地球温暖化のメカニズムを知ろう」

JCCCAの「21世紀における地上気温の変化予測」を用いて、地球規模で生じている環境変化について確認し、地球温暖化のメカニズムを学習した。その後、地球温暖化を防止する取り組み(エコアクションプラン)を考えた。東北大震災が起こったこともあり、子供たちの意識は高く、「電気をつけっぱなしをやめる。」「冷蔵庫の開け閉めを減らす。」「お風呂の水を洗濯に使う。」など様々な意見が出た。(岡崎市環境学習プログラム 6年生を参考)

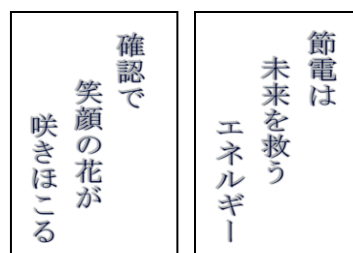
(3)「未来に生かす自然のエネルギー」のリーフレットを作ろう

国語の「持続可能な社会」への取り組みの教材を使って、未来に生かす自然エネルギーを調べ、リーフレット作りを行った。太陽光や風力を使ったエネルギー、地熱・潮力、バイオマス燃料など様々な自然エネルギーについて調べ、リーフレットにまとめて紹介した。



(4)「美合小エコプロジェクト」を成功させよう

環境家計簿をつけようということで、美合小学校の電気量・水道料を使って環境家計簿つけてみた。それを家庭の電気・水道料で計算しながら、エコ生活を心がけるようにした。また、エコ生活のための標語を作り、校内にも掲示した。



3 実践を振り返って

今年は東北大震災の影響があり、環境に対する関心が高く、節約生活への取り組みを真剣に考え実行できた。また、他教科と絡めて実践したことで総合の時間を有効活用することができ、環境プログラムだけでなく、将来の自分を見据えた「夢プロジェクト」にも取り組むことができた。